

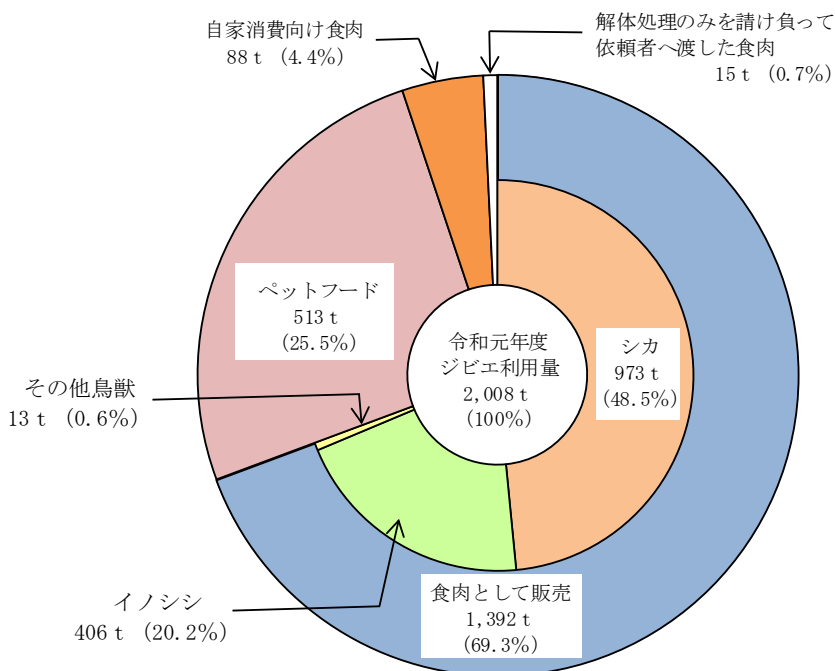
I 調査結果の概要

1 野生鳥獣のジビエ利用量

食肉処理施設が令和元年度に処理した野生鳥獣のジビエ利用量は2,008 t で、前年度に比べ6.4%増加した。

このうち、食肉販売を目的として処理したジビエ利用量は1,392 t で、前年度に比べ0.6%減少したものの、ペットフードの利用量は513tで、前年度に比べ37.2%増加した。

図1 野生鳥獣のジビエ利用量（全国）



注： 構成割合については、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある（以下同じ。）。

表1 野生鳥獣のジビエ利用量（全国）

区分	合計	食肉処理施設が販売						解体処理のみを請け負って依頼者へ渡した食肉	自家消費向け食肉
		計	食肉				ペットフード		
			小計	イノシシ	シカ	その他鳥獣			
平成30年度	1,887	1,774	1,400	426	957	17	374	17	96
令和元年度	2,008	1,905	1,392	406	973	13	513	15	88
対前年度比 (%)	106.4	107.4	99.4	95.3	101.7	76.5	137.2	88.2	91.7
構成割合 (%)									
平成30年度	100.0	94.0	74.2	22.6	50.7	0.9	19.8	0.9	5.1
令和元年度	100.0	94.9	69.3	20.2	48.5	0.6	25.5	0.7	4.4

2 野生鳥獣の解体頭・羽数

食肉処理施設が処理した野生鳥獣の解体頭・羽数は12万2,203頭・羽で、前年度に比べ6.6%増加した。

鳥獣種別にみると、シカが8万1,869頭で10.4%増加したものの、イノシシが3万4,481頭で0.3%減少、その他鳥獣が5,853頭・羽で1.1%減少した。

図2 野生鳥獣の解体頭・羽数（全国）

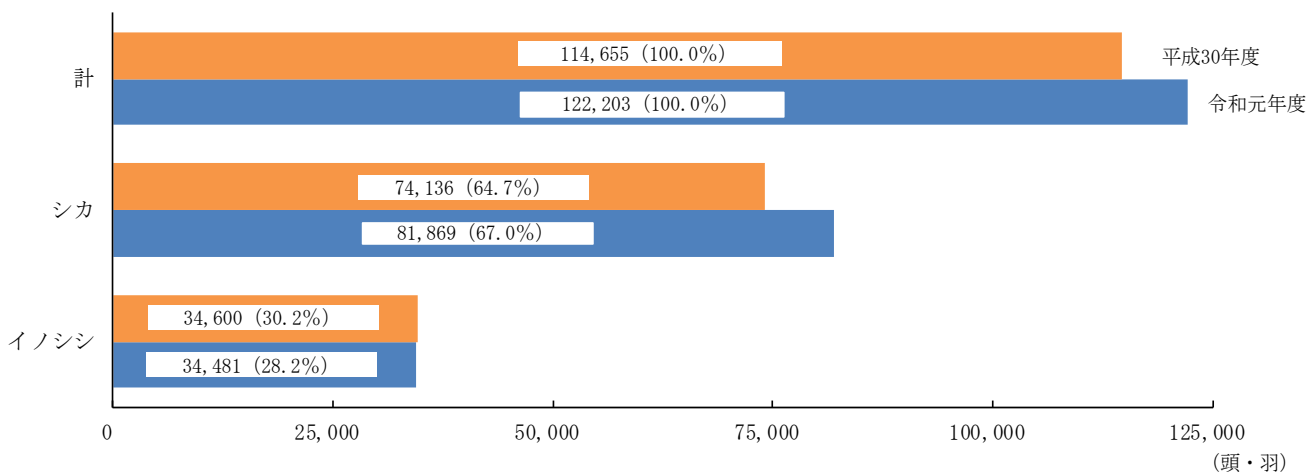


表2 野生鳥獣の解体頭・羽数（全国）

区分	計	イノシシ	シカ	その他鳥獣				
				小計	クマ	アナグマ	鳥類	その他
	頭・羽	頭	頭	頭・羽	頭	頭	羽	頭・羽
平成30年度	114,655	34,600	74,136	5,919	240	535	4,960	184
令和元年度	122,203	34,481	81,869	5,853	357	480	4,744	272
対前年度比(%)	106.6	99.7	110.4	98.9	148.8	89.7	95.6	147.8
構成割合(%)								
平成30年度	100.0	30.2	64.7	5.2	0.2	0.5	4.3	0.2
令和元年度	100.0	28.2	67.0	4.8	0.3	0.4	3.9	0.2

表3 （参考）イノシシ、シカの捕獲頭数（全国）

単位:頭

区分	計	イノシシ	シカ
平成30年度	1,177,100	604,800	572,300
令和元年度 (速報値)	1,243,000	640,100	602,900

資料：環境省調べ。令和元年度は令和2年9月時点速報値。

3 食肉処理施設で処理して得た金額

食肉処理施設で処理して得た金額は37億6,900万円で、前年度に比べ1.4%減少した。

このうち、食肉の販売金額は34億2,700万円で、前年度に比べ4.2%減少し、鳥獣種別にみるとシカが18億7,500万円で0.9%減少、イノシシが14億8,600万円で8.2%減少、その他鳥獣が6,600万円で1.5%減少した。

ペットフードの販売金額は2億9,300万円で、前年度に比べ45.8%増加した。

表4 食肉処理施設で処理して得た金額（全国）

単位：100万円

区 分	合 計	販 売 金 額										解体処理の請負料金
		計	食 肉				食 肉 以 外					
			小 計	イノシシ	シカ	その他鳥獣	小 計	ペットフード	皮革	鹿角製品(鹿茸等)	その他	
平成30年度	3,821	3,795	3,577	1,618	1,892	67	218	201	8	8	1	26
令和元年度	3,769	3,737	3,427	1,486	1,875	66	310	293	6	10	1	32
対前年度比(%)	98.6	98.5	95.8	91.8	99.1	98.5	142.2	145.8	75.0	125.0	100.0	123.1
構成割合(%)												
平成30年度	100.0	99.3	93.6	42.3	49.5	1.8	5.7	5.3	0.2	0.2	0.0	0.7
令和元年度	100.0	99.2	90.9	39.4	49.7	1.8	8.2	7.8	0.2	0.3	0.0	0.8

4 食肉処理施設が卸売・小売に販売した食肉の鳥獣種別販売価格

食肉処理施設が卸売・小売に販売した食肉の鳥獣種別の1kg当たりの販売価格は、イノシシが3,656円で前年度と比べ3.4%低下、シカが1,877円で2.6%低下した。その他鳥獣が4,684円で7.9%上昇した。

表5 食肉処理施設が卸売・小売に販売した食肉の鳥獣種別販売価格（全国）

単位：円/kg

区 分	イノシシ	シカ	その他鳥獣
平成30年度	3,784	1,927	4,343
令和元年度	3,656	1,877	4,684
対前年度比(%)	96.6	97.4	107.9

5 解体頭・羽数規模別食肉処理施設数

野生鳥獣の解体頭・羽数規模別に食肉処理施設数をみると 50 頭・羽数以下が 302 施設と最も多く、全体の約 4 割を占めた。

一方、1,001頭・羽数以上の階層では、1,001～1,500頭・羽数が 8 施設（1.2%）、1,501頭・羽数以上が 13 施設（1.9%）であった。

図3 解体頭・羽数規模別食肉処理施設数（全国）

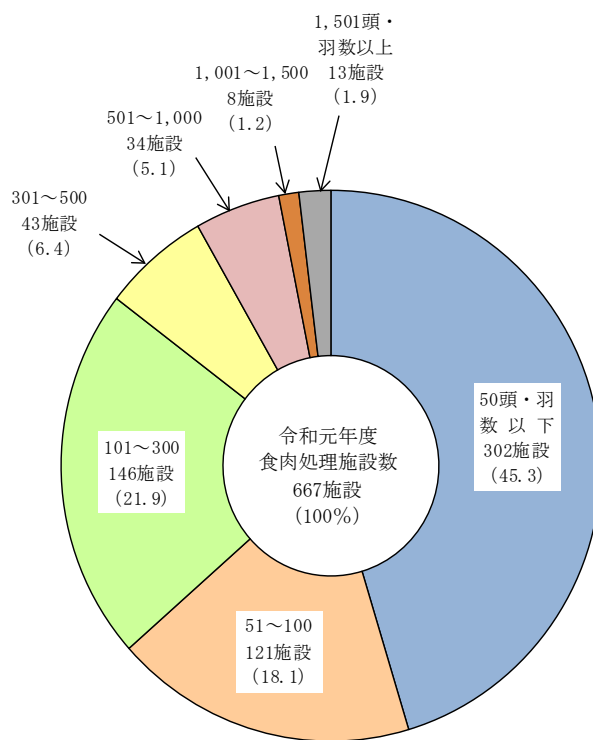


表6 解体頭・羽数規模別食肉施設数（全国）

単位：施設

区分	解体頭・羽数規模							
	計	50頭・羽数以下	51～100	101～300	301～500	501～1,000	1,001～1,500	1,501頭・羽数以上
平成30年度	633	275	127	141	41	27	10	12
令和元年度	667	302	121	146	43	34	8	13
対前年度比 (%)	105.4	109.8	95.3	103.5	104.9	125.9	80.0	108.3
構成割合 (%)								
平成30年度	100.0	43.4	20.1	22.3	6.5	4.3	1.6	1.9
令和元年度	100.0	45.3	18.1	21.9	6.4	5.1	1.2	1.9